

# フィリピン パラワン族生活改善プロジェクト

協力団体： AMP-IPM (Augustinian Missionaries of the Philippines Indigenous Peoples Mission)

\*カトリック修道会内の福祉部門。少数民族パラワン族の文化継承、保健・栄養改善・教育活動を行う。

協力期間： 2003年6月1日～2006年5月31日 (第1期)

2006年6月1日～2009年5月31日 (第2期)

2009年10月1日～2012年9月30日 (第3期)

支援対象： パラワン州ブルックスポイント町に住むパラワン族300世帯。

報告期間： 2007年6月1日～2008年5月31日

支援規模： 1,052,816.89ペソ (約2,421,478円:使用レート 1ペソ=2.3円)

\*為替レートが送金時期によって異なる為、日本の会計報告と必ずしも一致しません。

## 事業の背景と目的

少数民族パラワン族は、パラワン島外からの移住者に土地を奪われ、行政サービスが十分に行き届かない山間部に追われ、マラリアなどの感染症、栄養不良、慢性的な水不足などに苦しめられてきました。

本プロジェクトは、第1期では、パラワン族の人々の生活改善をめざして、栄養改善、マラリアを中心とした感染症の早期発見などのための保健ボランティアの育成、伝統文化の保全などの分野で成果を挙げてきました(2005年度年次報告ご参照)。そして、第1期終了時には、村に安全な水を運ぶ給水設備が完成し、その維持管理体制を構築し、住民による保健・教育・生計活動や食料自給体制の強化を図るために、事業を第2期として3ヵ年延長しています。

## 2008年度の総括

本事業第2期の第2年度として、事業目的に沿って、以下の成果を達成しました。

- 1 保健ボランティアの参加による定期医療・歯科検診、補食サービスや栄養指導、マラリア対策を含む保健教育、研修が定期的に行われました。
- 2 伝統文化を週1回学ぶ教室も昨年度に引き続き継続され、小学校低学年の子ども109人が参加し、7月と9月のワークショップを経て、10月の先住民族の月の式典で踊りを披露しました。また、伝統文化の継承の計画作り担当者を地域の中から選ぶことができました。
- 3 成人識字教室では、昨年度に完成した指導要領に沿って、ボランティア教員が週1回教室を開催し、進度別の全4コースに合計107人が通い、うち102人がそれぞれのコースを卒業することができました。
- 4 これまでに育成された18人のボランティア教員および保健ボランティア、10人の伝統文化継承指導ボランティアが指導能力を強化する研修を受講しました。
- 5 給水設備の管理状況を確認する定例会が継続され、小規模修繕や使用料の徴収、会計管理のシステムも住民組織が担うようになってきました。
- 6 マラリア早期発見センター分室1ヵ所が完成しました。
- 7 パラワン族用の小規模ビジネス研修の指導ボランティアマニュアルが完成しました。



識字教室で学ぶ女性



定期医療検診で早期診断を受け、病院で治療を受けることができた母子

## 受益者の声

保健ボランティアのチャリト・ナバラさん(36歳、保健ボランティア歴3年)

伝統療養士の経験を活かしてボランティアとなりました。研修で多くのことを学び、自信をもって病院への付き添いや子どもたちの健康観察、マラリアの早期診断検査までできるようになり、地域の健康状態が良くなる様子を実感してきました。



研修を受けるチャリト・ナバラさん左から2番目